

巻頭言 消化器センターでの肝胆膵手術

当院の消化器センターでは、消化器癌を含めた、消化器疾患全般について、内科と外科の垣根を超えた、合同カンファレンスを行い、それぞれの患者さんに合った、最適な治療を提供できるよう、日々心がけ、努力しております。

肝胆膵領域について、特に癌を伴うような悪性疾患では、診断するにも患者さんにとっての負担の大きな検査が多く、手術においても、さらに負担が大きくなる傾向にあります。これらを克服すべく、肝胆膵手術には術前の3Dシミュレーションや3Dナビゲーションを駆使することで、術前術中の手術支援を行なっております。



＜消化器センター＞
＜准教授 榎並 延太＞

なお、今年の4月からは、手術室に近赤外蛍光イメージシステムを導入し、術中の腫瘍や胆道などの観察にも対応した新たな外科手術用内視鏡システムが可能になりました。これによって、腹腔鏡下手術では、常時、術中 ICG 蛍光法（近赤外線を医療用 CCD カメラによって捉え、身体への負担を与えずに生体内組織を観察する手技）による胆道造影が可能となり、肝胆膵手術の中で最も多い、腹腔鏡下胆嚢摘出術に応用できます。腹腔鏡下胆嚢摘出術においては、これまで、肥満は術後合併症のリスクにならないことを研究論文で報告してまいりましたが、¹⁾この手技につきましても近年のトピックになっており、今後さらに進めて参りたいと思います。

当センターは大腸癌の患者さんが多いハイボリュームセンター（手術件数の多い病院）であることから、肝炎などが原因で発生する肝細胞癌に対する肝切除症例と比較して、大腸癌などから肝臓へ飛んできてしまう転移性肝癌が多くなっております。これらの肝切除手術はもちろんのこと、膵、胆道疾患においてもシミュレーション・ナビゲーション・ICG 蛍光法技術を応用しながら、合併症なく、腫瘍学的にも十分な手術を心がけていきたいと考えております。

当センターは、前述の通り、患者さんの負担を可能な限り少なくしつつ、診断から手術までスムーズに移行できるところが特徴であります。今後とも患者さんに貢献できるように尽力してまいりますので、宜しくお願い申し上げます。

1) Enami Y, et al. Obesity is not a risk factor for either mortality or complications after laparoscopic cholecystectomy for cholecystitis. Sci Rep. 2021 Jan 27; 11(1):2384.



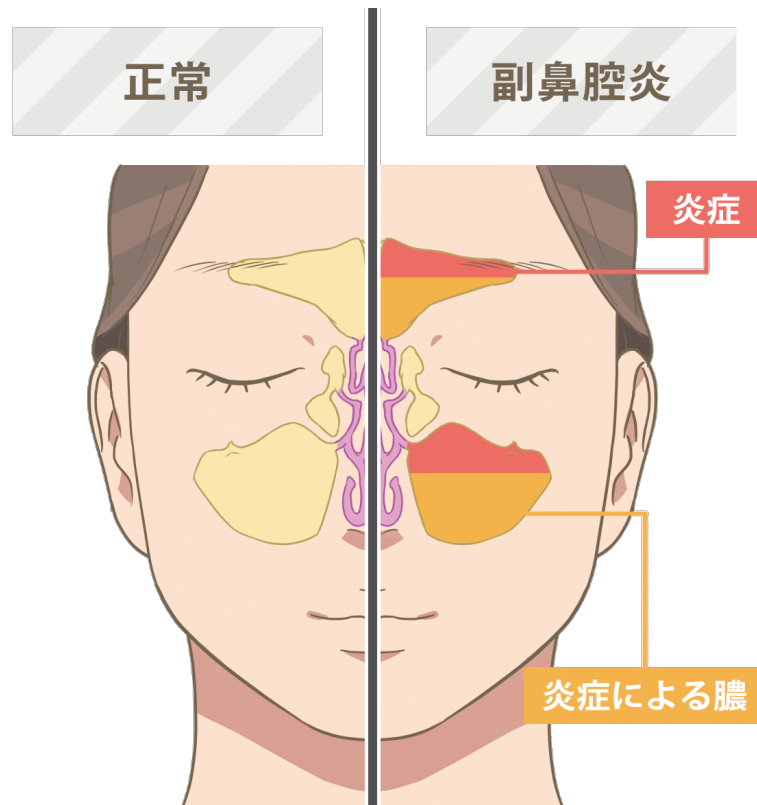
- P1. 【巻頭言】消化器センターでの肝胆膵手術
- P2～3. 【医学講座】副鼻腔炎について
- P4. 【お知らせ】患者満足度調査を実施しています
【お知らせ】クリスマスツリーを飾ります
- P5. 患者さんからのご意見・ご要望について
- P6. 【お知らせ】年末年始の外来診療について
【編集後記】

【医学講座コーナー】副鼻腔炎について

(耳鼻咽喉科 講師 油井健史)

皆様こんにちは。耳鼻咽喉科の油井健史です。本日は副鼻腔炎（ふくびくうえん）についてご紹介いたします。鼻は鼻腔（びくう）と言われ、鼻の周りには副鼻腔（ふくびくう）という空洞があり、ほっぺたの中に上顎洞（じょうがくどう）、おでこの辺りに前頭洞（ぜんとうどう）、目の間に前篩骨蜂巢（ぜんしこつほうそう）、後篩骨蜂巢（こうしこつほうそう）、その更に後ろに蝶形骨洞（ちょうけいこつどう）と名前がつけられております。副鼻腔は鼻腔と交通しており、役目は諸説ありますが本当のところはよく分かっておりません。その空洞で炎症が起こるのが副鼻腔炎、いわゆる蓄膿です(図 1)。副鼻腔炎にも色々種類があります。

図 1



種類	主な原因
急性副鼻腔炎	風邪のウイルスや細菌感染で急激に起こる
慢性副鼻腔炎	炎症が3ヶ月以上続き経過が長くなり起こる
歯性上顎洞炎	上顎の歯根から炎症が波及して起こる
副鼻腔真菌症	副鼻腔にカビが住み着いて炎症を起こす
術後性頬部嚢胞	以前の副鼻腔炎手術の何十年後かに発症

副鼻腔炎の症状・治療

症状は鼻詰まり、膿性や粘調性の鼻水、鼻水がのどに回る後鼻漏、頭重感や頭痛・頬部痛等です。風邪を引いて黄色い鼻水が出てほっぺたが痛ければ急性副鼻腔炎の可能性が高く、粘っこい鼻水が出たりのどに回って痰みたいに絡んだり頭重感が何ヶ月も続いていれば慢性副鼻腔炎の可能性あります。急性副鼻腔炎は風邪と共に自然と去ってしまうこともありますが、慢性化してしまった場合は長期に薬剤での治療が必要だったり、ときには手術治療が必要な場合があります。

歯性上顎洞炎は、上顎の歯の根っこが上顎洞に近いので、歯の根っこの炎症が強いとすぐ上にある上顎洞まで炎症が波及してしまい起こります。歯科で抜歯が必要になる場合もありますし、改善しない場合は副鼻腔の手術が必要になることもあります。

【医学講座コーナー】副鼻腔炎について

副鼻腔真菌症は臭い匂いが続いたり、膿のような鼻水がのどに回ったり症状が続き、時には微熱が続くこともあります。薬が効きにくく、元気なうちは良いのですが高齢で体が弱ったり、糖尿病、その他抗がん剤投与や免疫抑制剤投与などで免疫力が下がったときに周囲の目や脳へ感染が広がり致死的な状態になることがあります。見つけ次第手術治療をお勧めします。

30年以上も前の歯茎を切った副鼻腔炎手術をした後、10年以上の歳月を経てほっぺたに膿の袋ができてしまう術後性頬部嚢胞といった副鼻腔炎もあります。痛みが出てきたり、大きくなると目を下から圧迫して目玉の位置がだんだんずれてきたりします。このような方にも手術をお勧めします。

副鼻腔炎の手術は以前は局所麻酔で歯茎から切開して行っていましたが、現在は全身麻酔でほぼ全例、鼻の中から内視鏡を使って鼻内のみの操作で行っています。内視鏡手術の技術も年々進歩し、また、術後鼻内に詰める挿入物の素材も進歩して、評判の悪かったガーゼの抜去なども改良され患者さんへの負担はだいぶ軽くなりました。

好酸球性副鼻腔炎

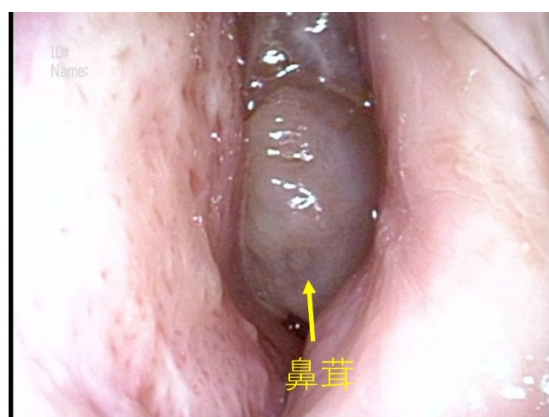
最近注目を集めているのは慢性副鼻腔炎の中でも難治性で再発しやすい好酸球性副鼻腔炎です。特徴は両鼻の中に鼻茸と言って粘膜が炎症でブヨブヨに腫れたものが充満し匂いが分からなくなってしまうことが多く、喘息を患っている人に多くみられます(図2、図3)。血液検査では白血球のうちの好酸球の割合が高くなり、鼻茸や副鼻腔の粘膜を顕微鏡で見る病理検査を行い、好酸球が多く入り込んでいることが認められれば確定診断となります。ステロイドホルモン剤が著効しますが、強い薬なので副作用のために長く使い続けることもできず、手術治療を行っても6年後には半数の方が再発すると言われています。先頃この難治性の好酸球性副鼻腔炎術後再発例に対してデュピルマブという生物学的製剤の使用が保険適応となりました。高額な薬剤ですが好酸球性副鼻腔炎の難病指定を受けると月々の医療費の制限ができますので支払額は抑えられるようになります。難治性、症状の強い好酸球性副鼻腔炎再発で手術を希望されない方には朗報かと思われます。鼻汁、後鼻漏、嗅覚障害、頭重感など、症状のある方はぜひ耳鼻咽喉科医にご相談下さい。

図2



＜正常な鼻腔内＞

図3



＜副鼻腔炎の鼻腔内＞



【お知らせ】患者満足度調査を実施しています

当院では、日頃より皆様への医療サービスの向上に努め、皆様のご意見・ご要望を基に、病院運営の改善を行っております。

今後の医療サービスのさらなる向上のため、外来患者さん・入院患者さんを対象に、以下のとおり患者満足度調査を実施しています。つきましては、皆様の率直な意見をお聞かせいただきたく、アンケート回答のご協力をお願いいたします。

	外来患者さん向け	入院患者さん向け
実施期間	12月3日（金）まで	1月21日（金）まで
回答方法① アンケート用紙に記入	中央棟 1 階・2 階にて アンケート用紙を配布しています	中央棟 1 階 入院受付にて アンケート用紙を配布しています
回答方法② QR コードから回答		

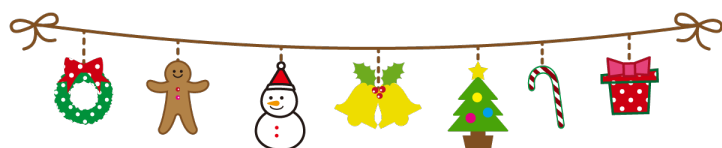
なお、アンケートの集計結果は後日取りまとめ、院内に掲示いたします。

【お知らせ】クリスマスツリーを飾ります

中央棟 1 階ホスピタルストリートにクリスマスツリーを設置します。

例年は、クリスマスツリーの設置にあわせて点灯式を実施しており、コーラスグループによる歌唱などを実施しております。昨年度に引き続き、今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、点灯式は開催せず、クリスマスツリーおよびイルミネーションの点灯のみ行う予定です。

点灯式の開催を楽しみにして下さっていた皆様、申し訳ございません。ご来院の際は、華やかに飾り付けられたクリスマスツリーを是非ご覧ください。



＜昨年設置したクリスマスツリー＞

患者さんからのご意見・ご要望について

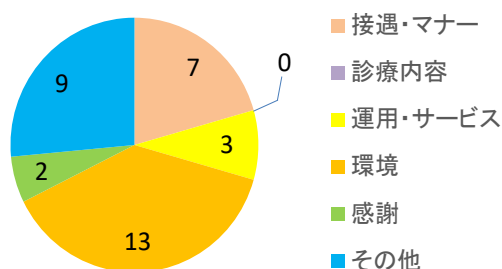
日々患者さんよりいただきましたご意見・ご要望に関しましては、病院長及び関連する部署の責任者に報告し、改善に努めております。

今までのご意見の中で多くいただいたものや最近のご意見・ご要望を中心に改善策を掲載させていただきました。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。

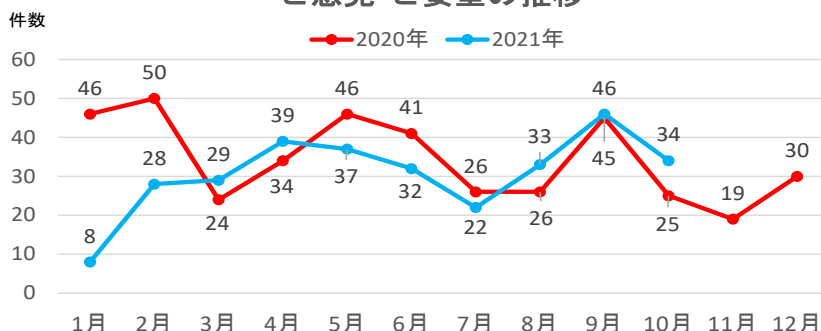
今後もお気付きの点やご要望をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

ご意見・ご要望	回答・改善等
デイルームの外側のライトが、節電のため点灯していませんが、暗いと気持ちが落ち込んでしまうので点灯するようにしてほしいです。	この度は、ご不安な思いにさせてしまい申し訳ございませんでした。早速、全病棟のデイルームのライトを確認し、点灯可能な箇所を点灯するようにしました。 貴重なご意見ありがとうございました。 (回答部署：管理課)
デイルーム内の自動販売機、クールばかりですが、ホットのドリンク類を入れてほしいです。 夏でもホットは必要です。 ここをよく利用しています。 よろしくお願いします。	ご意見ありがとうございます。 季節を問わず、温かい飲み物を自動販売機でご利用いただけるよう、準備します。 準備が整うまで、今しばらくお待ちいただけますようお願いいたします。 (回答部署：管理課)
デイルームの椅子がとても重たくて、出し入れに苦労しています。 病人だから力が出ないのですよ。弱ってるから。	ご意見ありがとうございます。 現状を確認し、軽いものに替えられるよう検討してまいります。 (回答部署：管理課)

2021年10月
ご意見・ご要望の総計34件



2020年・2021年
ご意見・ご要望の推移



【お知らせ】年末年始の外来診療について

下記の年末年始の期間、外来診療を休止いたします。

外来診療休診期間：2021 年 12 月 29 日（水）～2022 年 1 月 3 日（月）

上記期間は外来診療の電話予約（予約センター）も休止いたしますので、ご了承ください。
1 月 4 日（火）より通常診療を行いますので、ご理解・ご協力のほどお願いいたします。



編集後記

早いもので、もう 12 月ですね。今年も新型コロナウイルス感染症に振り回された 1 年となりました。1 回目の緊急事態宣言が発令された時は、こんなにも長くこの状態が続くとは思いませんでした。長く続くコロナ禍の生活で、様々な行動が制限され、不安な気持ちになったり、気分が落ち込んだりしたこともあったかと思います。

このような状況の中、57 年ぶりに東京オリンピック・パラリンピックが開催されました。延期の末に無観客での開催という異例の大会になりながらも、選手たちの活躍する姿に多くの人が感動したことでしょう。また、パラアスリートたちの多様性、逆境に立ち向かう姿は、我々の胸を打ち、勇気を与えてくれました。

ワクチン接種が進み、緊急事態宣言の解除など、少しずつ心にゆとりを持てる状態になりつつあります。まだ時間はかかるかもしれませんが、一步ずつ前に進んでいると信じて、今我々にできることを心がけて頑張っていきたいと思います。

（呼吸器センター 助教 田中洋子）



北部病院だより 第162号
2021年12月1日発行

発行責任者 門倉 光隆（昭和大学横浜市北部病院長）

編集責任者 緒方 浩顕（広報委員会 委員長）

発行 昭和大学横浜市北部病院

〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話 045-949-7000(代表)

URL：<https://www.showa-u.ac.jp/SUHY/>

北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』がご覧いただけます。